

大型連休中の注意喚起について

宮古島市は市内の急速な感染拡大の状況を受け、4月24日よりまん延防止等重点措置区域に指定されており、沖縄県の要請に従い、市からも飲食店舗の営業時間短縮要請への協力、また市民の皆様へ不要不急の外出自粛等の感染対策等をお願いしているところです。しかし、多数の陽性者が連日確認され、残念ながら感染状況は減少の傾向がみられません。

また、明日29日からは大型連休に入り、さらに観光客の増加や飲食、イベント等による感染が拡大することが懸念されるため、宮古島市に渡航を予定されている観光客の皆様、飲食業の皆様、市民の皆様にもまん延防止重点措置に係る要請にご協力を頂きますよう本日は再度、強くお願いをいたします。

宮古島市における感染状況は、まん延防止重点措置区域に指定されて以降も、連日陽性者が確認され、27日時点で1週間の陽性者数は66人、人口10万人対で118.83人となり、感染が減少傾向にある沖縄県の41.99人に比較して極めて高い数字となっています。

全国でも変異株による感染が確認され、緊急事態宣言が出されている都道府県や、まん延防止等重点措置区域に指定されている地域等からも、強い移動の自粛要請が出ています。

宮古島市は、医療体制が脆弱な離島であり、現在でも入院や宿泊療養が逼迫している状況であることをご理解頂き、まん延防止期間中は宮古島市への来島を控えて頂きますよう、切にお願いします。

また、接客を伴う飲食業の皆様に重ねてのお願いです。接客を伴う若い世代の接客飲食業を中心とした感染が急激に拡大しています。沖縄県のまん延防止期間中の営業時間は夜8時まで、酒類の提供は夜7時までの営業時間短縮要請がでています。沖縄県の営業時間短縮と併せて、従業員や利用客へのマスクの着用、体調不良者への入店の拒否など、徹底した感染対策を実施し、

感染防止にご協力頂きますよう、強くお願いいたします。

まん延防止期間中は市も独自で巡回し、県の時短要請に応じない店舗に関しては強い措置を講ずるよう沖縄県と連携して参ります。

また、変異株による急速な感染拡大が懸念されています。つきましては、ゴールデンウィーク期間は、市民の皆様も、生活や健康の維持の為に必要な場合を除いた外出自粛と、夜8時以降の不要不急の外出自粛の徹底、島外への往来については自粛して頂きますようお願いいたします。

特に、飲食の機会からの感染が多く確認されています。同居家族以外との飲食の自粛や、飲食を伴うカラオケの利用の自粛、屋外でもバーベキューや飲食等のイベントの自粛を徹底していただきますようお願いいたします。

市の電話相談室も、連休中ではありますが5月1日及び3日、4日、5日の午前中は電話相談室を開所します。発熱や、感染に関する不安等ありましたら病院受診前にまずは、お電話で相談ください。

なお、ワクチン接種のお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

ワクチン接種もまだ始まったばかりであり、感染力の強い変異株による感染拡大等、一人一人の感染対策はこれまで以上に重要性を増しています。

ゴールデンウィーク期間中も、事業所の皆様、市民の皆様が気を緩めることなく、これまで以上の感染対策の徹底へのご協力を心からお願いいたします。